

氏 名（本籍地）	王 尚（中華人民共和国）		
学 位 の 種 類	博士（社会心理学）		
報告・学位記番号	第518号（甲（心）第9号）		
学位記授与の日付	2023年3月25日		
学位記授与の要件	本学学位規程第3条第1項該当		
学 位 論 文 題 目	中国人大学生および在日中国人留学生の睡眠改善に関する健康心理学的研究		
論 文 審 査 委 員	主査	教授	博士（人文科学） 松田 英子
	副査	教授	博士（社会心理学） 北村 英哉
	副査	客員教授	堀毛 一也
	副査	岩手大学教授	松岡 和生

学位論文審査結果報告書〔甲〕

【論文審査】

本論文は、日本の大学に留学した中国人留学生の睡眠を改善する方法を目的とした、健康心理学的研究であり、文献のレビューに基づく序論と一連の6つの研究、研究結果をふまえた考察と結論から構成される力作である。また、この目標のために中国人大学生や中国人の労働者、日本人大学生との比較を行った文化比較を行っているところも本論文の特徴である。

この論文の最終的な結論は、「①中国人の大学生と留学生は、日本人大学生と比較して相対的に、睡眠の質に気分の問題（抑うつや不安）が影響しやすい、ストレスの直接効果よりも気分の問題を媒介する効果が強い。②そのため中国の留学生の睡眠の質を高めるためには気分の問題の改善をする心理学的支援法が有効で、実際に介入実験をしたところ、生理学的指標と心理学的指標の双方から、気分の改善効果と睡眠の質の改善効果が確認された。」であった。このことは、心理学の社会的貢献に関して意義のある研究と高く評価される。実際に日本が受け入れている留学生の多くを占める中国人留学生の心の健康教育の分野に応用できる可能性のある論文である。

加えて、論文審査に関し、審査者から高く評価された点としては、論文を構成する6つの研究が、質問紙法による調査研究が3本、面接法による調査研究が2本、介入実験による睡眠実験研究が1本から構成され、心理学で使用される方法が多面的に実施されたことであった。

口述審査（英語、専門的知識）課題については、研究に関連する課題として次の論文の課題を出し、COVID-19 パンデミックが世界的な非臨床サンプルの人の睡眠の質にどう影響したか、著者たちの主張を英語で要約し、王尚さんが行った一連の研究結果との関連性について（尺度 PSQI、非臨床サンプル、ストレスとの関連性等）について論述で求め、そのことに関して質疑応答がなされた。英語力、専門的知識ともに十分にあることが確認された。

Scarpelli, S., Zagaria, A., Ratti, P. L., Albano, A., Fazio, V., Musetti, A., Varallo, G., Castelnuovo, G., Plazzi, G., & Franceschini, C. (2022). Subjective sleep alterations in healthy subjects worldwide during COVID-19 pandemic: A systematic review, meta-analysis and meta-regression. *Sleep Medicine*, 100, 89 - 102. <https://doi.org/10.1016/j.sleep.2022.07.012>

【審査結果】

王尚氏の学位請求論文には、国際誌に掲載された1つの研究と学内の紀要に掲載された4つの研究の他に、国際誌に投稿中の論文1本、国内学会誌に投稿中の論文1本が含まれている。また国内外の学会発表の実績も多数あり、睡眠や異文化ストレスに関する参考論文（英語論文と日本語論文）も複数あることから、社会学研究科（社会心理学専攻）の博士学位審査基準に照らしても妥当な研究内容であると認められる。

本審査委員会は、王尚氏の博士学位請求論文について、所定の試験結果と上述の論文審査結果に基づき、全員一致をもって本学博士学位を授与するに相応しいものと判断した。